

地域研究委員会・地球惑星科学委員会合同
地理教育分科会（小分科会、○小委員会）の設置について

分科会等名：地理教育分科会 環境・防災教育小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○地域研究委員会 地球惑星科学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員および連携会員、その他
3	設置目的	<p>日本学術会議「日本の計画」(2002年)では、循環型社会における地球規模の環境問題解決能力の育成には、人間及び人間社会の存在が歴史的のみならず、根源的に風土的・空間的存在であることの理解が必要であると指摘したが、この考え方は、人間活動を地球(自然、土地、空間)との関係で捉える地理教育に通ずるものがある。特に地球規模の環境問題解決の知識基盤としての地理教育の重要性とその推進が日本学術会議の対外報告「現代的課題を切り拓く地理教育」(平成14年9月)でも提言された。</p> <p>防災分野においても日本学術会議「地球規模の自然災害に対して安全・安心の社会基盤の構築委員会」の提言(平成19年5月)では、災害認知型社会を形成するためには、ハザードマップ等を利用した地域の災害リスク理解が不可欠であり地学・地理教育の推進が提言され、新指導要領「地理A」では、防災に関する教育内容が正規カリキュラムに取り入れられた。</p> <p>しかし、学校教育現場において、地理系教員の減少や自然地理苦手意識の教員数の増加傾向は収まらず、子供達の自然地理的知識は低下している。この問題を解決するためには、環境や防災に関する地理教育の内容改善や教育現場の教員への研修が必要である。本小委員会では、近年の自然地理学の研究成果を取り入れ環境・防災地理教育の内容改善を目指す。また、教育現場の、教員向け研修のあり方も検討する。</p>
4	審議事項	環境・防災教育の内容検討 環境・防災教育に関する教員研修体制の在り方の審議
5	設置期間	時限設置 年 月 日～ 年 月 日 ○常設
6	備考	